

答

取組に至った経緯としては、県から県内市町に対してNHK朝ドラ誘致の候補となりうる情報提供の打診があり、本市からは、新幹線生みの親として知られ、第2代西条市長も務め、これまで郷土の偉人として顕彰をしてきた、十河信二氏と妻キク氏を主人公とする物語を、県に提案した。その後、県から誘致活動を進めることが決定した旨の報告を受け、県、本市及び十河信二氏の生まれ故郷である新居浜市を加えた3者で協議を進めることとした後、推進協議会の設立総会及び署名出発式の開催を経て、誘致活動を開始したところである。

推進協議会は、新居浜市と本市の商工会議所、観光物産協会及び十河信二氏の顕彰活動に携わった団体や県、十河信二氏の親族など14団体で構成され、誘致に向けた署名活動や関係団体への要望活動を主な役割としている。

今後の活動については、署名活動を主軸として機運の醸成を図り、本年8月を目途に協議会の共同代表である新居

浜市長、西条市長並びに顧問会長である県知事の3者でNHK本社への要望活動を行う予定である。なお、署名数については、NHK本社への要望活動までに1万人を超える署名を集めたい。

来年、令和6年は、東海道新幹線開通60周年、十河信二氏生誕140年、更には、本市合併20周年と、メモリアルな1年であり、偉人顕彰は、社会教育の場となり、シビックプライドの醸成となるのに加え、全国に広く放映されることで、交流人口や関係人口が拡大し、地域活性化につながることも期待されることから、結果にこだわり、できることを全て取り組んでいきたい。



朝ドラ誘致の署名活動にご協力を!

「有法子(ユウファーズ)」とは、十河信二氏の座右の銘で、成せば成るといふ意味です。

三好和彦議員



- (議案質疑)
- 1 畜産配合飼料価格高騰対策支援事業について
(一般質問)
 - 1 避難行動要支援者の避難について
 - 2 復興まちづくりのための事前準備について
 - 3 災害時におけるペットの避難所について

ペットは大事な家族！
いっしょに避難できる？

問

災害時におけるペットの避難は、問題点や課題が多く、他自治体においても、避難指針ではペットの同行避難を認めていたが、災害時に避難所への同行避難を拒絶された例もある。令和元年6月定例会において、ペットの同行避難を実際に行えるか検証が必要であると答弁いた

答

いただいたが、その後、検証はどのようになっているのか。また、同じ場所に避難するだけの同行避難とは異なり、避難先でもいっしょの空間で過ごす同伴避難について、どのように認識しているのか。更に、ペットの同行避難を含めた避難所運営訓練を行うことで地域の理解やコミュニケーションも生まれると考えるが、現状はどうなっているのか。加えて、今後はどういう取り組みなのか。

難所の設置は想定していない。避難所運営の現状として、災害時にペットを受け入れた経験がなく、飼育スペースが一部の避難所では決まっていなかったことや、避難所での飼育ルールを飼い主へ周知できていないなどの不安を抱えている。

今後の取組としては、総合防災訓練のペット同行避難訓練で、実践を想定した飼育スペースを設置し、飼い主に同行避難所での飼育ルールを指導する予定としている。また、飼い主が安心して同行避難できるように各避難所の飼育スペースの確保を図るとともに、災害への備えや基本的なしつけなどについて周知を図りたい。

同行避難所については、西条市避難所設置運営マニュアルに基づき、98か所ある全ての指定避難所において、他の避難者に配慮した場所にペット飼育スペースを設置して受け入れることとなっているが、新型コロナウイルス感染症の影響により、具体的な検証はできていない。

同伴避難については、動物アレルギーのあるかたや動物が苦手なかたもいることから、盲導犬など身体障害者補助犬を除いて、避難所の居住スペースにペットを入れることは、原則禁止としており、同伴避



ペットと一緒に避難訓練